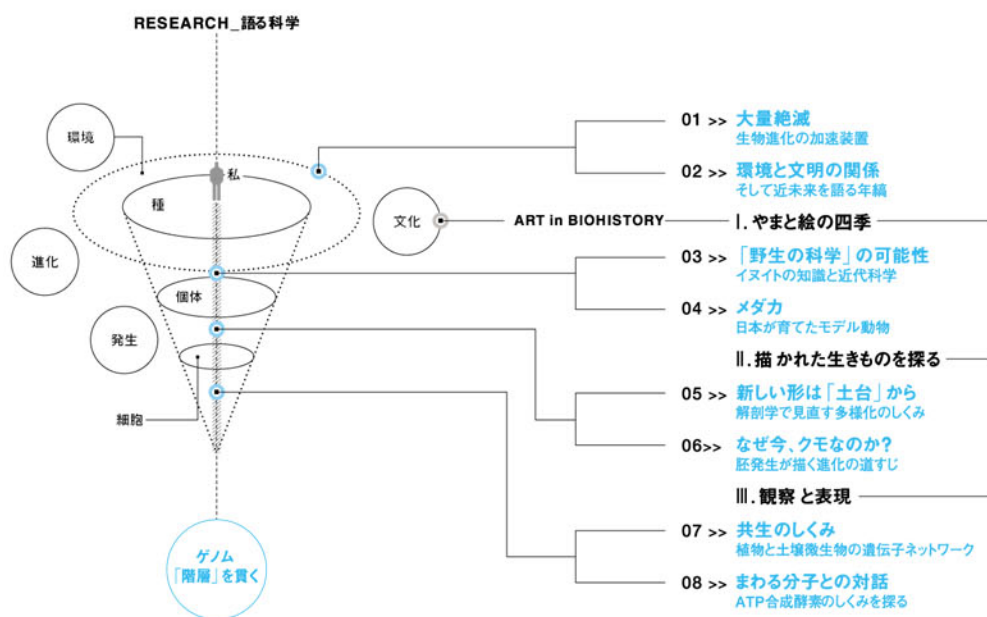


# Sample



# RESEARCH\_ 語る科学

科学技術文明の中では、自然を力づくで解析し、仲間と競争し、すぐ役に立つかどうかを価値基準とする研究が目立ちやすい。しかし、じっくりと生きものを見つめ、その語りにも耳を傾け、そこからまだ誰も書いたことのない自分だけの物語を書いていく研究が消えたわけではない。

分子から生態まで、あらゆる階層を貫く研究を並べて見ていくことにより、生物界が階層に分かれていると同時に、相互に結びつき関連し合っていることが見えてくる。分子モーターは身体の中

みごとに見せお茶目ぶりを発揮する。微生物の世界は共生のモデルであり、微生物間の分子による話し合いが聞える。動物の形づくりを探ることで、生きもの

の基本型、祖先型を見ようとする研究は、まさに歴史物語づくりである。マクロな世界では、地球と生きものとの関係が、時に新しい生物を産み、時に絶滅させるドラマにつながる。そのような世界を見る眼は一つではない。近代科学を問い直す研究も少なくない。これらがつなぎ合わさり、いつか大きな物語りが語れるようになるだろう。

(中村桂子)